

急患の9割が軽症者！

当直医院を正しく利用してください

先日、日曜当直医になった先生から、「一般の患者が多すぎて、急患を見てやれなくてこまった。約9割が軽症者だから、翌日かかりつけの病院へ行ってくれとほんとにたすかるんだが…」と言われました。そこで、富士市医師会に休日や祝日、夜間の緊急医療についてうかがってみました。

家族が病気になれば不安なことはよくわかりますが、突発的な急病はまれなものです。普段から何か異常があったら、早めに通常の診療時間（午前9時から午後5時）にかかりつけの医師に見てもらってください。また、急病か急変のような場合、無理なお願いができる親しい信頼

関係を主治医（現在見てもらっている医師）やかかりつけの医師と結んでおくことも大切ですね。

たとえば、医師会が休祝日に長者町の医療センターで、内科と小児科を開設していますが、ほんとうに緊急を要する患者さんだけを診察することになっています。原則として軽症者は診察いたしません。夜間は市内の医療機関が交代で診療するよう定めてありますが、これは一般に公開してありません。ですから重症で緊急な場合だけ119番で消防署の救急隊に依頼してください。重症の場合は救急車が出動してくれます。ただ、タクシー代わりにすることだけは絶対にやめてほ

しいですね。

現在、休日や祝日、夜間の当直医などは、医師が交代で行なってくれています。協力してくれる先生は、休日や眠る時間、休息の時間などを犠牲にしているわけです。みなさんも当直医などは本来の目的を考え、急病のときだけ利用するようにしてください。



【当直医院などは急病のときだけ利用して】



緑花の相談コーナー

南天に実がならない

問 3年ほど前に南天を日当りのよい場所に植えかえました。ところが、それ以来実が成らなくなっていました。どうしてでしょうか。

答 南天は日当りのよい場所では実が成りませんから、もう一度移植をしてください。植えかえる場所は、日陰でありあまりじめじめしていない所がもっとも適しています。移植の時期としては、3月から4月か10月から11月の春か秋に行なってください。

当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病患者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなのでみてくださいますと、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病患者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

■4月7日

外科 松本医院（久沢東 71-2570）
 芦川病院（中央町2 52-2480）
 産婦人科 山下医院（西国窪52-0611）

■4月14日

外科 藤井医院（松岡 61-7811）
 渡辺病院（錦町1 51-3751）
 産婦人科 中央病院（本市場61-8800）

■4月21日

外科 吉田医院（石坂 51-2515）
 中央病院（本市場 61-8800）
 産婦人科 遠藤医院（吉原3 52-1941）

■4月28日

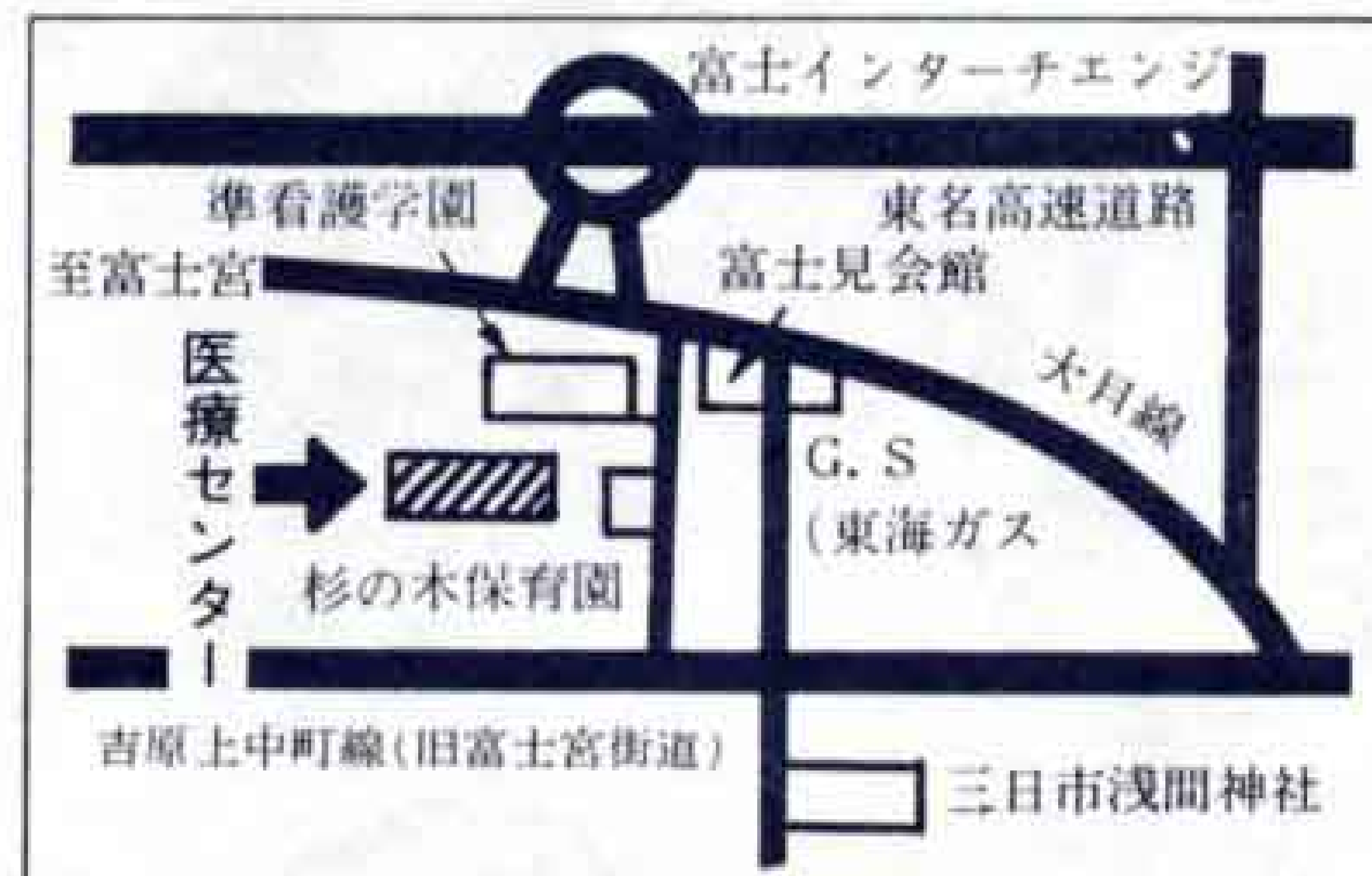
外科 川村医院（富士中島 61-4050）
 吉原病院（南町 52-0780）
 産婦人科 鈴木医院（今泉1 52-1712）

■4月29日

外科 望月医院（本市湯 61-0401）
 米山病院（吉原4 52-3060）

産婦人科 北西医院（本市場61-0119）

医療センター案内図



※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2（長者町）」電話は52-3104です。